

栗原地域だより

第 10 号

平成 25 年 11 月 1 日発行

目次

- 花山ならではの「新そば祭り」が開催されます！ p1
- 「福島原発事故に伴う損害賠償請求研修会及び個別相談会」が開催されます p2
- 野生きのこの出荷制限が続いています p2
- 栗駒耕英地区の岩魚が東京の一流ホテルの食材に採用されました！ p3
- 栗原和牛育種組合が農林水産大臣賞を受賞しました p4
- 第 14 回「伊豆野堰祭（いずのげきまつり）」を開催しました p4
- 「くりはらMMN 塾農業簿記基礎講座」を開催しました p5
- 農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています p6

若柳の伊豆沼レンコン



花山ならではの「新そば祭り」が開催されます！

地方振興部

「花山元気プロジェクト」（代表：佐藤倫治花山観光物産協会会長）では、昨年に引き続き、「花山新そば祭り」を開催します。もちろん目玉は、そば職人が花山産の香り高いそばを打ち、その場で味わうことができる「三たてそば」です。

今回は、恒例となった花山のそば打ち名人による「そば打ち教室」のほか、農家のお母さんによる生芋を使った「コンニャクづくり教室」も開催されます。

また、花山ならではの特別企画として、正解者は自然薯がもらえる「自然薯の重さあてクイズ」や「そばの石臼挽き体験」などが行われ、いろいろと楽しむことができます。

お帰りには花山の温泉にゆっくりつかり、「秘湯花山そばの里」をじっくりと楽しんでいただけたらと思います。

「花山新そば祭り」の情報は 当事務所の HP（下記 URL）をご覧ください。

<http://www.pref.miyagi.jp/site/kurihara-saightsseeing/sinsoba.html>



新そば祭りのチラシ

- 日程 平成 25 年 11 月 23 日（土）・24 日（日）
- 時間 午前 11 時～午後 3 時（そば粉がなくなり次第終了）
- 場所 道の駅 路田里 はなやま（自然薯の館）
栗原市花山字本沢北ノ前 112-1

■お問い合わせ

地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195



昨年の新そば祭りそば打ち風景

「福島原発事故に伴う損害賠償請求研修会・セミナー及び個別相談会」が開催されます

地方振興部

県では、仙台弁護士会や原子力損害賠償紛争解決センターと連携して、東京電力に対する損害賠償請求や時効制度、和解仲介等に関する研修会やセミナー、個別相談会を開催し、被害者の方々の損害賠償請求を支援するものです。

- 対象 県内の個人、法人・個人事業者、地方自治体担当者等
- 日時・場所 次のとおりです。

【研修会及び個別相談会】午後 1 時～4 時 30 分

開催月日	場所	定員	申込締切
①11月6日(水)	県大崎合同庁舎	130名	11月4日(月)
②11月14日(木)	県仙台合同庁舎	150名	11月11日(月)
③11月18日(月)	県大河原合同庁舎	200名	11月14日(木)

講師：仙台弁護士会及び
原子力損害賠償紛争解決センター
個別相談：仙台弁護士会

【セミナー及び個別相談会】午後 1 時～3 時 30 分

開催月日	場所	定員	申込締切
④12月13日(金)	県登米合同庁舎	120名	12月10日(火)
⑤12月16日(月)	県気仙沼合同庁舎	80名	12月12日(木)
⑥12月17日(火)	県石巻合同庁舎	200名	12月13日(金)
⑦12月20日(金)	県栗原合同庁舎	120名	12月17日(火)

講師：仙台弁護士会
個別相談：仙台弁護士会

(※どの会場へも申し込み可能です。なお応募多数の場合は先着順とさせていただきます。)

- 申し込み 各会場の申込締切日までに所定の申込用紙に必要事項を記入し、ファクシミリ、E メール、または郵送により下記へお申し込みください。
- 申込用紙 ホームページ (<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/gentai/>) からダウンロード、または県各合同庁舎でも配布しています。
- お問い合わせ 宮城県環境生活部原子力安全対策課
Tel：022-211-2340 Fax：022-211-2695
〒980-8570(仙台市青葉区本町3丁目8番1号)

野生きのこの出荷制限が続いています

林業振興部

福島原発事故の影響で、栗原市内では、昨年9月に野生のオオイチョウタケから基準値を超える110ベクレル/kgの放射性セシウムが検出されました。このため、昨年10月から安全を考慮して市内すべての野生きのこに、国から出荷制限の指示が出ています。

当事務所では、出荷制限指示後も検査を続けていますが、野生きのこの種類によって基準値(100ベクレル/kg)を超えたり下回ったりするなど、ばらつきが見られます(次ページ表参照)。このため、安全が確認されていない野生きのこは食べないでください。

今後も、野生きのこの出荷制限解除に向けて検査を続けますが、解除を申請するに当たっては、安全性の証明のため多くの検査用の野生きのこが必要です。栗原市産の野生きのこの確保について、御協力をお願いします。

※野生きのこ600g以上で検査が行えます。提供して
くださる方は下記までご連絡ください。

(単位：点)

品名	点数	基準値超	基準値以下
アマタケ	2	1	1
オオイチョウタケ	4	1	3
クリタケ	1	1	-
コガネタケ	1	-	1
トンビマイタケ	1	-	1
ナメコ	1	-	1
ナラタケ	2	2	-
ハイイロシメジ	3	3	-
ハタケシメジ	2	1	1
ブナハリタケ	1	-	1
マイタケ	1	-	1
マスタケ	1	-	1
ムキタケ	2	1	1
計	22	10	12

■お問い合わせ

林業振興部 林業振興班 Tel：0228-22-2381

(表) 野生きのこの放射能検査状況(昨年10月から本年10月まで)

栗駒耕英地区の岩魚が東京の一流ホテルの食材に採用されました！

地方振興部

栗原市栗駒耕英地区には、昭和46年に日本で初めて岩魚の養殖に成功した「数又養魚場かずまたようぎょじょう」があります。この養魚場は、平成20年の岩手・宮城内陸地震、平成23年の東日本大震災で大きな被害を受けましたが、現在は営業を再開し、栗駒耕英地区の4軒の宿泊施設等とともに、本年4月から岩魚丼の提供を開始するなど地域の復興に取り組んでおります。



栗駒耕英岩魚丼

今年5月、ホテルパークハイアット東京(東京都新宿区)内の日本料理店「梢こずえ」の料理長大江氏が数又養魚場を訪れ、岩魚養殖の歴史や環境、そして素材の素晴らしさを確認した結果、この岩魚を食材として採用することになりました。

先月、「梢」にて「Tohoku Heroes ～美味しい東北、こだわりの匠たち」と銘打ったイベントが開催され、数又養魚場の岩魚が「岩魚更紗焼(いわなさらさやき)」として提供され、多くの方に味わっていただきました。

このイベントは既に終了しましたが、耕英地区の飲食店では「栗駒耕英岩魚丼」のほか、塩焼きや刺身を味わうことができます。一流ホテルでもそのおいしさを認められた岩魚をぜひ一度ご賞味ください。



岩魚の塩焼き



岩魚の刺身

■お問い合わせ 地方振興部 商工・振興班 Tel：0228-22-2195

栗原和牛育種組合が農林水産大臣賞を受賞しました

畜産振興部

平成25年度の「宮城県総合畜産共進会」が、9月13日（金）～14日（土）の2日間、みやぎ総合家畜市場（美里町）において、開催されました。この大会は、畜産農家の日ごろの家畜改良の成果を競うもので、年に一度、各地域から選ばれた乳用牛、肉用牛および肉豚の3部門で行われます。（肉豚の部は、9月4日（水）～6日（金）に宮城県食肉流通公社（登米市）で開催）

栗原市からは、7月6日（土）に開催された栗原市畜産共進会で上位に入賞した牛を中心に、16頭の肉用牛と17頭の乳用牛が出品されました。乳用牛の部では、未經産^{*}部門の2つの出品区において最優秀賞を受賞し、若い牛たちの健闘が目立ちました。また、肉用牛の部では、4頭1組で出品する繁殖雌牛群と父系群の両区において栗原和牛育種組合が最優秀賞を受賞しました。繁殖雌牛群の入賞牛は、さらに共進会の最高位である農林水産大臣賞を受賞することができました。

群出品で成果を上げるためには、個々の牛の能力だけでなく、牛群のそろいの良さも求められることから、出品牛の選定や共進会に向けての調教など、関係者の努力と力量が要求されます。

今回の受賞は、組合員と関係機関が一丸となって取り組んだ成果が評価されたものと言えます。

本県では、4年後の平成29年に、和牛のオリンピックと呼ばれている「全国和牛能力共進会宮城県大会（全共）」の開催が予定されています。今回肉用牛の部で輝かしい業績を残せたことは、栗原市内の和牛農家の方々の、全共でのより一層の活躍を期待させるものとなりました。

※未經産…子供を産んだ経験がない雌牛

■お問い合わせ 畜産振興部 畜産振興班 Tel：0228-22-2487

第14回「伊豆野堰祭（いずのぜきまつり）」を開催しました

農業農村整備部

今年で14回目となる「伊豆野堰祭」（主催 迫川上流土地改良区・真坂土地改良区）が、9月14日（土）に一迫真坂にあるせせらぎ公園（伊豆野堰頭首工）で開催されました。この祭は、農業用水の地域社会における貢献や大切さを学び、堰建設に関わった先人たちの偉業に感謝し、農業の発展に貢献することを目的としているものです。当日は、晴天の下、地域の小学生およびその保護者40名が伊豆野堰の歴史について紙芝居で学び、お米や田んぼに関するクイズに答えました。当事務所の職員もスタッフとして参加し、農業農村整備に関するクイズの出題を担当しました。

続いて参加者は、小田ダムへ移動し、ダムの概要について説明を受けた後、漏水やダムの様子を監視するトンネルを見学しました。普段は入れない施設に、参加者はとても興味深そうでした。その後、せせらぎ公園に戻り、浅瀬でニジマスのつかみ取りを体験し、充実した一日を過ごすことができました。



開会式の様子



第4区 繁殖雌牛群

※紙芝居「伊豆野堰物語」は当事務所農業農村整備部のホームページで公開しています。

<http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/nh-khsgsin-ns/minori.html>



クイズに挑戦



ニジマスつかみ取り体験

■お問い合わせ 農業農村整備部 農地整備第一班 Tel：0228-22-2401

「くりはらMMN塾農業簿記基礎講座」を開催しました

農業振興部

平成25年8月22、28、29日、9月5、12日の計5日間、栗原市ふるさとセンターとJA栗っこ築館支所において、「くりはら MMN 塾農業簿記基礎講座」を開催しました。MMN 塾とは、「もっと(M)もうかる(M)のうぎょう(N)」をテーマに、農業者の技術や経営のスキルアップを目指すものです。

今回行われた「農業簿記基礎講座」は、1回2時間、合計5回の講義と演習で、実際に伝票を使用して手書きで複式簿記の基本を徹底的に学ぶことを目的としていることから、仕訳から元帳への転記、さらには財務諸表の作成まで行いました。講座は受講者の都合に合わせて参加できるように、昼と夜の2回同じ内容で開催し、昼・夜合わせて70人を超える農業者の方々が参加しました。簿記は初めてという方からパソコン簿記の記帳者まで受講者の習熟度はそれぞれでしたが、60人が修了証書を授与されました。講師は当事務所職員とJA職員の4～5名で担当しました。受講者が復習や質問ができる時間を講座の開始前にとったことから、早めに席に着き、熱心に記帳作業や質問をする方々が見受けられました。

この講座は好評のうちに終了し、受講者のアンケートでは、「わかりやすかった」、「もっと回数を増やして欲しい」など様々な意見が寄せられました。

来年1月には、今回の受講者を対象にパソコン簿記の講座を開講する予定です。



研修会の様子（夜の部）

■お問い合わせ 農業振興部 先進技術班 Tel：0228-22-9437

農林産物の放射性セシウム濃度を検査し安全性を確認しています

(平成 25 年 8 月 23 日～10 月 18 日)

農業振興部・林業振興部

8月23日から10月18日までの間に農林産物61点を簡易検査し、食品の基準値（100ベクレル/kg）以下でした。市場に流通している食品は安全ですので、安心してお召し上がりください。

☆簡易検査の測定値が基準値以下であったもの(8月23日～10月18日)

農産物				農産物			
品名	点数	施設	露地	品名	点数	施設	露地
いちじく	3	—	◎	とうがん	1	—	◎
えだまめ	1	—	◎	梨	1	—	◎
柿	1	—	◎	なす	2	—	◎
かぼちゃ	1	—	◎	にんじん	1	—	◎
キャベツ	1	—	◎	白菜	3	—	◎
金糸瓜	2	—	◎	ピーマン	1	—	◎
空芯菜	1	—	◎	ぶどう	1	—	◎
ごぼう	2	—	◎	ブルーベリー	1	—	◎
ゴーヤ	1	—	◎	米なす	1	—	◎
さつまいも	3	—	◎	へらな	1	—	◎
さといも	4	—	◎	ポポー	1	—	◎
じゃがいも	1	—	◎	まくわうり	1	—	◎
セロリ	1	—	◎	もも	1	—	◎
大根	1	—	◎	ゆうがお	1	—	◎
高菜	1	—	◎	りんご	2	—	◎
たまねぎ	1	—	◎	れんこん	2	—	◎

林産物				
品名	点数	施設	露地	野生
あけび	1	—	—	◎
オオイチョウタケ	1	—	—	◎
栗	1	—	◎	—
菌床ヒラタケ	1	—	◎	—
菌床マイタケ	5	—	◎	—
原木ブナハリタケ	1	—	◎	—
原木マイタケ	4	—	◎	—
みずの実	1	—	—	◎

◎：基準値以下 一：検査未実施

※放射性セシウム濃度基準値

食品群	基準値(1kgあたり)
飲料水	10ベクレル
乳児用食品	50ベクレル
牛乳	50ベクレル
一般食品	100ベクレル

詳しくは厚生労働省HPをご覧ください。

(http://www.mhlw.go.jp/shinsai_jouhou/shokuhin.html)

■お問い合わせ 農業振興部先進技術班 Tel：0228-22-9437（農産物について）
 林業振興部林業振興班 Tel：0228-22-2381（林産物について）

発行：宮城県北部地方振興事務所栗原地域事務所（地方振興部）

〒987-2251 宮城県栗原市築館藤木5-1 Tel：0228-22-2195(直通) Fax：0228-22-6284

E-mail：nk-khsinbk@pref.miyagi.jp

ホームページ <http://www.pref.miyagi.jp/soshiki/9.html>

※次号（第11号）は1月6日発行予定です。